

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 3月 1日

事業所名 U-KID'S MOMODANI

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		・室内の構造化を行い、場の意味や活動の切り替えがわかりやすいようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	67%	33%	・10名の利用者に対し、職員4名、パートスタッフ1名～2名の配置を行っています。	・基本人員は適切であるが、時々人手不足を感じることもあるため、人員を増やして対応していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	83%	17%	・バーテーションを使用し、活動場所を区切って対応しております。 ・視覚的な構造化に取り組んでいます。	・個室の壁は高さが150cmの設定だが、児童によっては登ってしまうこともあるため、対策を検討中です。 ・フロアが開けており、静かな場所でも過ごしたい児童には騒がしく感じることもあると思われるため、対策を検討中です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%		・棚で場を区切り、活動によって使用するスペースを変えたり、児童同士で距離を取れるようにしています。	・換気と子どもたち用のかごの清掃をより頻繁に行うべき。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		・職員間で情報を共有し、現在の状況やその後の対応について話し合いながら取り組んでいます。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		・毎年のアンケートをもとに結果を職員間で共有、改善に向けて取り組んでいます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		・毎年3月にその年度のアンケート結果の開示を行っています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	60%	第三者の設定は現在協議中です。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		月に一度、スキルアップのため研修を行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%		・アセスメントツールにてアセスメントを行い、支援計画の作成、課題の設定を行っています。また半年に1度の懇談で状況説明を行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		・アセスメントツールにてアセスメントを行っています。各職員が適宜確認できるようにしています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%		個別・集団の活動を組み合わせた内容かつ、ご利用者様のニーズに合わせて設定を行っています	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%		支援計画を確認しながら課題の設定を日々行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		・企画やレクリエーションについて、現在のご利用者様に合う活動をチームで話し合って実施しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		・日ごとのプログラムを職員で意見を出し合いながら設定しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%		・自発的なコミュニケーション支援と、スケジュール等の理解コミュニケーション、感覚運動遊びなどを組み合わせて実施しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		・送迎の確認やお子様一人ひとりの対応等細かく確認し、支援が円滑になるようにしています。	・自ら能動的に支援の内容と役割分担を確認できるよう各職員のスキルアップを目指していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		・学習や普段の様子等細かく共有するようにしています。	・当日の設定によってはパートタイムの職員の参加が難しいことがあるため、時間調整を行っています。また、これまでよりも多くの意見を取り入れられるよう、振り返りに参加できない職員向けの伝言板を準備したいと考えています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		・記録をもとに次回の課題設定を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%		・半年に一度モニタリングを実施。職員間で話し合い、次期の計画内容を検討しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		・基本的には児童発達支援管理責任者が対応を行っていますが、必要に応じて職員を1名追加で参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%		区役所の子育て支援課と連携しながら支援を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	25%	75%	・現在医療的ケアが必要な方の受入れを行っていませんが、必要に応じて対応を検討していきたいと思えます。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	50%	・保護者様を通して支援内容を調整しております。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		・受け入れ開始前に、訪問や電話などを行い、情報収集に努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		子育て支援室や、相談支援事業所を通して連携を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33%			現在児童発達支援センターなどとの交流がないため、今後は交流や連携を視野に入れて対応していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	83%		近所の公園では遊びにきている子ども達と交流する機会があります。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	83%		社会福祉協議会が行う学童期子ども支援連絡会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		・帰り送迎の引継ぎ時や、電話・メールを用いて事業所での様子をお伝えしたり、ご家庭の様子のお聞き取りを行っています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	83%		懇談を通して、現状の課題をお伝えし、必要に応じてご自宅でもできると取り組みの提案をさせていただいております。		
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		・契約時に細やかに説明を行っています。必要に応じて再度説明を行っています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%		半年に一度モニタリングを行い、懇談の機会を設けています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		・ご利用者の状況に合わせて情報提供を行っております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17%	67%	一部保護者様が取り組まれている活動の広報のお手伝いをさせていただいております。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		・ご利用者の状況に合わせて取り組み内容の変更や、課題の再設定を行っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%	・月1で行事予定表を配布しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%		・施設外へご利用者の情報が漏れることがないよう、契約書を策定し、研修も実施しております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		・視覚的な情報の提供や、具体的な伝達方法を用いています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%		・instagramを通して活動内容や行事の発信を行っています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%		各種マニュアルは策定しております。近頃はHPに内容をアップロードする予定です。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	83%	17%	定期的に様々な内容で訓練を実施しております。	・防災訓練はしているが、実際の避難経路を移動する練習までには行っていないため、今後取り組んでいきたいと思っております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%		契約時だけでなく、服薬が必要になった際は適宜確認を行っております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		・保護者を通して対応方法のやり取りをしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		・気づきがあった際は記入を行い、全職員に周知、再発防止に努めています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		・年に1度全職員対象の研修を行っています。また、虐待防止委員の設置をしております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%		・身体拘束については個別支援計画に記載し、事前に保護者様に了承を得ております。また、やむを得ず身体拘束を行った際は、状況と対応を説明しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。